

科学の力でまつ毛をのばす!

美容皮膚科クリニックで「まつ毛の育毛」に着目した治療が、今、ブームだ。火付け役は昨年日本に上陸したまつ毛育毛剤「ラティース」。エクステやパーマに頼らず、「地まつ毛」を伸ばすことにごこだわった最新の科学的アプローチを、医療とコスメの両面からレポートする。

構成: 文/宮本恵理子、久保なお 写真/小寺浩之(イメージ)、清水知雄子(取材) イラスト/コッパンス、杉本祐子
デザイン/近江デザイン事務所

最新医学でまつ毛を伸ばす

長くて濃いまつ毛を身にしたい。そんな女性たちが注目するのが、米国発のまつ毛育毛剤「ラティース」。エクステやパーマに頼らず、「地まつ毛」を伸ばす効果のある医薬品だ。一本のまつ毛が伸びて抜けて落ちると、サイクル(周期)で落ちるとは13ヵ月、3~4年といわれる毛髪はすべて抜くその期間は加齢やストレスによって短くなる。ラティースの研究では、35歳を過ぎるとまつ毛の長さや密度がともに低下するといいう結果も出ている(1)。育毛剤「ラティース」もその変化を促すのだ。

ラティースを長くから導入して1年以上おおいクリニックの中野あおい院長は、その効果について「成長期を延長して、まつ毛を長く伸ばす効果に、まつ毛の毛根を活性化させる(2)まつ毛の本を増やせば効果がある」と解説。実際に、使用1ヵ月目から効果が出始めた。3ヵ月ほどで長さが定着するケースが多いという。3ヵ月で約6万円をかけてプロの手で伸ばすまつ毛が手に入るのとすると、毎月1万円ほどか

毎日のメイク、クレンジング…花粉症時期に目をごすすることでまつ毛は日々傷んできている! & 紫外線によるダメージ、加齢でまつ毛の「伸びる力」はダウン

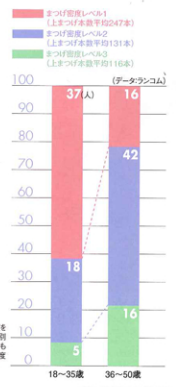
最新科学アプローチでまつ毛の「伸びる力」をアップさせよう!

豊かなまつ毛を手に入れると…

ホコリ、ウィルス、菌、紫外線から目を守る
アイラインがくっきり! 健康的な目ヂカラ美人に

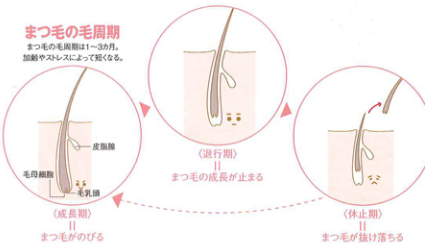


まつ毛の伸びる力は35歳から力が弱! 日本人女性のまつ毛の密度を三つの年代に分け、年齢層別に分析した調査結果をまとめたものの、加齢とともに、まつ毛の密度が低下することがわかった。(データ: ランコム)



まつ毛の毛周期

まつ毛の毛周期は1~3ヵ月。加齢やストレスによって短くなる。



あおいクリニック
中野あおい院長
金沢医科大学病院。国内美容クリニック屈指を経て、2005年から医療。肌の治療はもちろん、美容目的とした育毛治療にも力を入れている。ラティース3ヵ月分セットで4万7250円(税込25%割引)キャンペーン実施中。www.aoi-clinic.com

かるエクステと比べてもお得感がある。何となく、まつ毛を傷める心配がないのがいい。その使用感では、下の読者体験を参考にしてほしい。さらに最新トピックスとして、毛髪育毛のHARG療法(※)をまつ毛に応用する動きも注目だ。地まつ毛が濃く長くなれば、アイラインがくっきりとして見た目が良くなるのはもちろん、まつ毛を守る「中野院長」一方で、まつ毛のケアは、顔のほかの部位と比べて、これまでも重視されてこなかった。ピュニール(※)換んだり、クレンジングでこするたびに、まつ毛は日々ダメージを受けている。一葉外線が強くなり、花粉症も目をこすりがちなこの時期は、まつ毛のケアに特に気を配って、衣理ケアに次ぐベビーに相対するセルフケアも早速始めてみよう。

※HARG療法とは、毛髪再生を促す成長因子を毛根に直接届けることで、毛根を活性化させる治療法のこと。ピュニールは、毛髪再生を促す成長因子を毛根に直接届けることで、毛根を活性化させる治療法のこと。